

2019年3月8日 金曜日

開会挨拶

2日目の開会挨拶を、顧問 辻井 重男氏、顧問 下村 正洋氏に頂いた。



湯沢・白浜プレゼン

情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢 (<http://www.anisec.jp/yuzawa/>) は 2019 年 10 月 11 日 (金) ~12 日 (土) に開催される。次回は 20 回大会 (但し、20 回≠20 周年との説明があった) になる。申し込みは7月末開始。

第 23 回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム (<http://www.riis.or.jp/symposium23/>) は 2019 年 5 月 23 日 (木) ~25 日 (土) に開催される。本日 3 月 8 日 (金) 12:30~が最終受付になる。

多数のご参加をお待ちいたします。



講演メイン②

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の久保 正樹氏により「ダークネット観測からの脆弱性&インシデント・ハンドリング」に関する講演が行われた。



NICTER で観測された 2018 年のダークネット観測統計では、大規模なスキャンを実行しているスキャナーの存在が複数観測された。また、これまで TELNET に頼った攻撃が多く観測されていたが、近年では IoT の固有の機器のポートを狙った攻撃も増えている。

2018 年 7 月以降に 5555/TCP を狙った攻撃が急増した。このポートは Android 機器が使っており、Android Debug Bridge (ADB) として用いられているポートである。ADB に接続できると、ファイルコピーや shell アクセスが可能になる。ADB 接続が行える場合に予想される脆弱性やその対策について説明された。

学生研究賞 受賞研究発表会

Sec 道後での学生研究賞は今回 3 回目の試みになる。今年も多数の応募を頂いた中から 4 件を発表頂き、投票により最優秀を選ぶ。4 名の受賞者は以下の方々である。

- ・メッセージングアプリの普及に基づく簡単で公平なコイントス（宮原大輝 東北大）
- ・実世界でも攻撃可能な Audio Adversarial Example（矢倉大夢 筑波大）
- ・スマートフォンにおける音声とタッチスクリーンから取得した耳介を用いた個人認証（郷間愛美 電通大）
- ・分光スペクトルを用いた LED の個体識別における電流変化の影響（藤聡子 電通大）